

# 発行に寄せて

今、求められているもの



会長  
上田藤市郎

「今程其地に志学の方十四五輩も御座候旨、奇特なる御事と存候」とは、藤樹先生から熊沢蕃山あて書簡の一文です。この度、高島藤樹会に一五〇名を超える志学の方が参集されたことは、誠に奇特なことであり、会員の皆さまに厚くお礼申し上げます。「我が本心の

好む処を好み、本心の悪む処を悪む而已」という先生の教えは、人が、誇りをもって天に恥じることのない生き方が求められている今日の世相に、喫緊の指標であります。本会は、諸事業を通して先生の教えを全国に広め、人々がその知識を深めるにとどめず、先生の教えを体現して生きてくたさることを願っております。平成二十年の藤樹先生生誕四百年祭を控え、皆様の絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 藤樹先生の生きる郷

高島市長 海東 英和

新しい年を澄み切った穏やかな心でお迎えのこととお慶び申し上げます。高島市も満一歳になり、皆様のお陰で、少しずつ高島市民みんなの藤樹先生になってきたように感じています。私たち市三役もそれぞれ大洲市訪問の機会を得、今も藤樹先生に相談するようにお暮らしになっている市民の姿や街の佇まいに感銘を受けた次第です。

岡山県の総社市長のお力添え

で、DVDが皇太子殿下にもご覧頂けたとの知らせを受けました。またクリスマス・イブにびわ湖放送で放映され、滋賀県民の心にも響いたことと存じます。かつては、多くの方が手紙を遣り取りして藤樹先生に相談をなされたとか。現代に生きる私たちも藤樹先生に問いかけ、考えることが、個人の人生にも高島市の未来にも、大きな影響を与えることでしょうか。こんな大変な時代だからこそ、藤樹先生の教えが生き生きと生きる郷でありたいですね。皆様方のご健康を祈り、ご活躍をお願い申し上げます。

# 事業報告

○平成十七年六月十二日(日)、安曇川公民館において「高島藤樹会設立総会」が開催された。玉垣勝高島市教育長の祝辞のあと、趣意書、定款、役員選出など五項目の議案は、ほぼ原案通り承認されました。総会終了後、映画「近江聖人中江藤樹」(原田龍二主演)が上映され、ここに「高島市」誕生に合わせて「高島藤樹会」として安曇川町から高島市へと、新たに大きく羽ばたきこととなりました。

本会は常任理事会、理事会で構成され、委員会としては表彰・教材・広報委員会が活動します。

○同、八月二十五日(木)、「第一回中江藤樹・心のセミナー」(安曇川公民館)を開催、本会顧問の安原啓氏の基調講演「藤樹教育の五十年を振り返って」が行われました。次いで行われたシンポジウムでは、テーマ「善き心の良知をそだてるために」に沿って、パネリストに寺田一清氏、広瀬童心氏、海東英和、高島市長、太田満氏をお迎えし、コーディネーターに本会顧問の久保田暁一氏が担当され、当日は近畿への台風上陸の悪天候にもかかわらず、遠くは三重県や大阪方面などから多くの参加者がありました。

○同、十月二十九日(土)「第一回中

江藤樹・心のセミナー(パートII)」として、高島市の福祉バスで河原市の正直馬子の生家跡、和邇の榎宿跡、東海道石部宿の旅館などへの研修ツアーが行われました。雨天で少し肌寒い日でしたが、バスでは馬子の話で議論百出でした。

## 今後の事業予定

○平成十八年一月二十八日(土) 第一回「藤樹賞」贈呈式を予定しております。先般の表彰委員会で受賞者は、映画「中江藤樹」制作に際し、藤樹先生の真の姿を見事に描き出された功績は大きく、これに努力された矢田清巳監督に決定しています。同日は監督の記念講演を予定しています。

○平成二十年(2008年)には「中江藤樹生誕四百年記念事業」を予定しています。昨年より高島市安曇川支所を中心に「特色あるまちづくり」の大きな柱として本事業の推進を図り、その準備委員会が立ち上がりました。記念事業の成功に向けて、今後とも会員、市民各位のご協力をよろしくお願い致します。